

十九の春（ワルツ）

KOZA75

ve本調子 i 202 n

一、あたしがあなたに惚れたのは ちよ
うど十九の春でした あれからいく
とせ過ぎたやら
募るばかりのこの思い

二、一銭五厘の葉書さえ 千里万里と旅
をする 同じ日本に住みながら 何
も知られん身の辛さ

三、あなたあなたと呼んだとて あなた
は何処の空の下 山を押しつけ海を
超えあなたの胸にすがりたい

四、この身は傷つき汚れても 恋する思
いは汚されぬ 流れる月日もよす波
も 初恋ばかりは消せやせぬ

五、あなたの夢見て目が覚めて 戸打つ
音に外へ出た 意地悪夜風が闇を抜
け 空にや月が照るばかり

六、奥山育ちの鶯は 梅の小枝で昼寝し
て
花の咲くような夢を見て
ホーケーキヨ・ホケキヨと泣いて
ます
ホーケーキヨ・ホケキヨと泣いてま
す